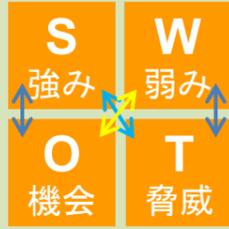
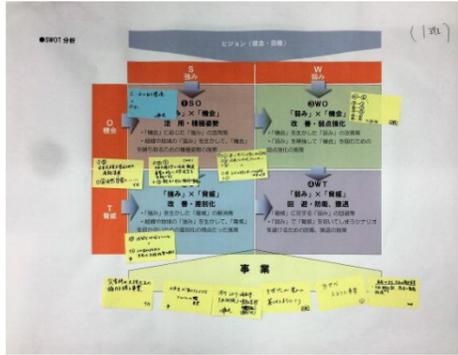


- ② まちづくりの方向性を踏まえ、SWOT分析による事業の抽出
- ③ SWOT対象図に事業の抽出と共に該当する地点を図面に落としていきました。



- ①SO「S:強み」×「O:機会」(活用・積極姿勢)
- ・「機会」に応じた「強み」の活用策
 - ・組織や地域の「強み」を生かして、「機会」を勝ち取るための積極姿勢の施策
- ②ST「S:強み」×「T:脅威」(改善・差別化)
- ・「強み」を生かした「脅威」の解消策
 - ・組織や地域の「強み」を生かして、「脅威」を招かないための差別化の視点にたった施策
- ③WO「W:弱み」×「O:機会」(改善・弱点強化)
- ・「機会」を生かした「弱み」の改善策
 - ・「弱み」を補強して「機会」を掴むための弱点強化の施策
- ④WT「W:弱み」×「T:脅威」(回避・防衛、撤退)
- ・「脅威」に対する「弱み」の回避策
 - ・「弱み」で「脅威」を招いてしまうシナリオを避けるための防衛、撤退の施策

1班 (世代がいっぱい班)



抽出された事業

- ①大学生が動けるようなコミュニティ事業 (SxT)
- ②3世代が豊かに暮らせるまちづくり (WxO)
- ③多世代ふるさと事業 (SxO)
- ④災害時の文理大生の協力を得る事業 (SxO)
- ⑤平成のまち大在の観光事業 (SxO)
- ⑥河川、江川、海岸線、ため池(堤)→有効活用 (SxO)



2班 (福スポ班)



抽出された事業

- ①公園で自由に市民が楽しめるようにステージ付きの公園が欲しい(野外ステージで音楽を聞いたりイベントで使える施設が欲しい) (WxO)
- ②南側の高台へ総合文化(スポーツ)施設を建設 (WxO)
- ③高齢者と子どもと一緒に集える場所づくり (SxO)
- ④大在東部に小中一貫校を整備新設する
加えて災害時の避難にも活用できる (SxT)
- ⑤学校施設の整備事業 (WxT)



- ④まちづくりアイデアを導き出した考案者が班のメンバー及び市職員と共に話し合い事業を導き出した。
成果発表:班の導いた事業の主要なポイントを発表しました。

【1班 (世代がいっぱい班)】

①大学生が活動できるコミュニティ事業、②3世代が豊かに暮らせるまちづくり、③多世代ふるさと事業、④災害時の文理大生の協力を得る事業、⑤平成のまち大在の観光事業、⑥河川・江川・海岸線・ため池、水の有効活用した事業ということで6項目出ています。①と④は文理大学を活かしていこうという考えでリンクしている。②③は多世代、3世代でなにかやれないかということを考えてものです。あとは観光と、水のこと。河川の話ですが、もちろん住みやすい環境はそうですけども、ここに住み続けたいと誇りに思っているのだとすると、こういう話はとてもすてきなと感じました。

桜をうまく活用したり、海をうまく使ったり、もちろん水をうまく使うという、いろんなものが融合していきまちなって行くのだと思うのですが、これをしたからあれがよかった、あれがあったから、これが行われた、という風な相乗効果が生まれたら一番いいのかなというふうに思っています。

番号	事業名	6つの対策						SWOT戦略		対象エリア	事業化	コメント
		①	②	③	④	⑤	⑥	●	○			
①	大学生が動けるようなコミュニティの事業	●	●					●	○	全体	●	・大学生が子どもや大人とのふれあい(コミュニティ)の場をつくる ・大在の歴史などを生かしている大人から子どもたちに伝えていきたい ・実際大在でお祭りの手伝いや、子どもに歴史を伝えている
②	3世代が豊かに暮らせるまちづくり	●	●	●	●	●	●	●	○	全体	●	・若者が帰ってきたり残りたくなる、大在のブランド作り ・働く場所がない →雇用が見込めない企業誘致が必要だがうまくいかない ・生活基盤を支えるまちづくり
③	多世代ふるさと事業	●	●					●	○	全体	●	・世代間交流や人材育成がおこなわれるまち ・誇れるような街にする ・人が帰ってきたい、住み続けたいまちにすること
④	災害時の文理大生の協力を得る事業	●	●					●	○	全体	●	・文理大の学生に自然災害時に手助けしてもらえる組織づくり →組織に入れば、下世代が安くなるなど(大学や市の援助で) ・地域の交流が深まり、活性化されるのでは
⑤	平成のまち大在の観光事業		●	●	●	●	●	●	○	全体	●	・観光事業に力を入れ、大在を「平成のまち」にする ・バスで大在地域を巡ってもらう →道の駅を作ったり、三井造船や文理大学の見学など ・商店街が活気づく事業があれば(長期スパンで)
⑥	河川、江川、海岸線、ため池(堤)→有効活用		●	●	●	●	●	●	○	●	●	・住む人が誇りや希望をもてるまちづくり ・大在の地理的環境を活かす →親水化が大事 ・江川に遊歩道の設置、昔の海岸線を残している部分を活かす、釣り場をつくるなど ・自然災害対策で避難場所も必要



【2班 (福スポ班)】

①公園で自由に市民が楽しめるようなステージ付きの公園がほしい。野外ステージで音楽を聴いたり、イベントに使える施設が欲しいということです。具体的な場所としては、大在公園の活用です。ステージがないのであそこステージを設け、屋根を付けて、ステージと観覧席にもドームテントがついている、雨天でも使えるような施設が欲しいという意見です。②南側の高台へ総合文化施設を作してほしい。スポーツと文化の多目的なものです。地図を見ますと立石付近に非常に広い土地があります。バイパス沿いに福祉とスポーツを兼ね備えた施設があるとスポーツの大在ということではないかと思えます。③高齢者と子どもと一緒に集える場所づくりというのはソフトな面ですね。公園とか、児童館とか地域の中にたくさんあると思えます。そういうところでお互いに触れ合える場所を、ソフトを整備してコミュニティを作りたいという意見です。これは非常に可能性がある面白い意見だと思います。④と⑤は同じような内容です。喫緊の課題として、小中一貫校を整備新設する。災害時は避難場所に活用できる大規模校を新設という意見です。人口増加が見込まれています。それに対処するためにもここに施設をつくりたい。地図で見るとよくわかりますが、西地区には、2つ小学校があって、東地区は何もないです、早急に施設を作りたいと思っています。

番号	事業名	6つの対策						SWOT戦略		対象エリア	事業化	コメント
		①	②	③	④	⑤	⑥	●	○			
①	公園で自由に市民が楽しめるようにステージ付きの公園が欲しい(野外ステージで音楽を聞いたりイベントで使える施設が欲しい)	●						●	○	●	●	・公園でイベントを実施するとき設備が不足して不便 ・大在には子どもから高齢者まで使える公園が多い ・公園にステージをつけるなど様々なイベントに活用できるように →音楽など
②	南側の高台へ総合文化(スポーツ)施設を建設		●	●				●	○	●	●	・避難場所、スポーツ施設がない ・津波からの避難場所として大在の南側の高台に
③	高齢者と子どもと一緒に集える場所づくり	●	●					●	○	全体	●	・共働き家庭が多く、子どもがひとりぼっちの時間が長い →地域の子と高齢者が集える場所ができたらいいのでは
④	大分市東部に小中一貫校を整備新設する 災害時の避難にも活用できる		●	●				●	○	●	●	・東部の人口増加が見込める ・山川海があり、災害対策が必要
⑤	学校施設の整備事業		●	●				●	○	●	●	・東部に学校施設が必要(大在小と西小が近くバランスが悪い) →横断の子が帰るのに一時間ほどかかっている。子どもも増え続けている。 ・地域の署名運動で13000人ほどの署名をもらった →地域にニーズがある ・別府湾が震源になったとき、危険を感じる手段がなく帰宅に1時間かかっていると危ない →大在東部の子どもが逃げる場所が必要

